

# 高木市長の しおかぜ

## 通信



蒸し暑い日が続きますが、これから夏本番を迎える季節となりました。皆様には、体調に十分留意され、夏祭りや花火大会など、この時期ならではの行事をお楽しみいただきたいと思えます。

さて、5月22日には今年で八回目となります「島の大運動会」が白石島で開催され、七つの島の人をはじめ、約二千人の方々とふれあい、ともに楽しむ機会を得ることができました。回を重ねるごとに、笠岡諸島の絆がより一層深まることを実感した一日でした。

また、5月の終わりには、笠岡市と友好握手都市縁組を結んでいるマレーシアのコタバル市でのセンター公園のクロックタワー完成式典に参加するため、市民の方々を含む43名の方と一緒にマレーシアを訪問しました。

また、5月の終わりに、笠岡市と友好握手都市縁組を結んでいるマレーシアのコタバル市でのセンター公園のクロックタワー完成式典に参加するため、市民の方々を含む43名の方と一緒にマレーシアを訪問しました。

また、5月の終わりに、笠岡市と友好握手都市縁組を結んでいるマレーシアのコタバル市でのセンター公園のクロックタワー完成式典に参加するため、市民の方々を含む43名の方と一緒にマレーシアを訪問しました。

また、5月の終わりに、笠岡市と友好握手都市縁組を結んでいるマレーシアのコタバル市でのセンター公園のクロックタワー完成式典に参加するため、市民の方々を含む43名の方と一緒にマレーシアを訪問しました。



く、マレーシアでは色とりどりのフルーツがたくさんあることで有名です。フルーツの王様と呼ばれる強烈な匂いのドリアン、一見どうやって食べるのかわからないようなトゲの皮の中から出てきた甘い果実……。日本でも馴染みのスイカなどは年中収穫されるその違いにも驚かされたコタバル市訪問でした。

今後も市民レベルでの国際交流が深まり、異国の文化に触れながら見聞を広めていただく機会が増えること、そしてそこから新たな笠岡市のよさを発見していただくことを期待しています。

笠岡市長 高木直矢

## 受章おめでとうございます

### 危険業務従事者叙勲

#### 瑞宝単光章

榊原 具視さん（横島）

榊原さんは、昭和31年に笠岡消防署が組織されるとともに入署。38年の永きにわたり数々の災害現場での消火・防災活動、消防施設の発展に尽力された功績が認められ、4月29日に受章されました。



「危険なことは何度もありました。今考えてもよくやってきたなと思います。昔は、大雨が降ると、各地で土砂崩れが発生しましてね。災害現場に向かっている途中で、違う土砂崩れに遭遇して、それをかきわけて現場に向かったりもしました。」と思ひ出を

語る榊原さん。当時は、道路も消防の装備も整備されていない中で、少数精鋭でみんなでカバーしあつたと言います。そのほか、幾多の水災現場で率先して被害拡大の阻止にあたり、その実行力で部下職員の士気を鼓舞しました。

また、中高層ビル建設で都市化が進む中、ビル火災に対処するため、はしご付ポンプ自動車の配備に奔走。その後も、レンジャー隊員の育成などに精力を傾けました。

今回の受章に榊原さんは、「立派な章をいただいてうれしい反面、どうして自分かという思いです。適任者はほかにもたくさんいますから。これもひとえに先輩からのご指導と周囲の皆さんのご協力をいただいたからだと感謝しています。今後も、微力ながら地域社会の力になれるように頑張っていきたいと思ひます。」と語っていました。